

## 事事故事例 2 (一般乗合) 高齢の乗客が席を移動中に発進したため転倒

曜日・時間・天候	(木)・17時10分・晴れ
場所	運行途中の国道のバス停留所
道路の状況	乾燥 幅員8.0メートル
運転者	年齢52歳 運転歴20年
乗務開始から事故発生の乗務距離	65.3km
損害	重傷者1名
<b>事故概要</b> 当該バス運転者は、乗客20名を乗せ運行中、停留所で停車中に後部座席に座っていた乗客が、シルバーシートに移動しようとして座席を離れ移動中に発進したため、その反動で床の段差付近で横向きに転倒したものである。なお、この事故により転倒した乗客(72才男性)が重傷を負った。	
種別・形状	普通・乗合
乗車定員	56名
当時の乗車人員	21名

### 推定原因

車内安全不確認

### 事故の要因

発進時に車内の乗客の確認が不足していたこと及び乗客への指示を怠った。

- ・運転者の先に急ぐ性格から車室内の確認を怠った。
- ・ノンステップバスであったため構造上乗客の確認がしにくいにもかかわらず注意が不足した。
- ・乗客への発進する旨の一声指示をしていなかった。

ノンステップ車両の構造的要因

- ・後方床面に20cmの段差があり走行中の移動には危険である。
- ・室内鏡が平面鏡で確認しにくいものであった。

### 事故再発防止対策

運転者に対し、輸送の安全確保についての指導監督の徹底等

- ・発車操作前の車内の安全確認の徹底
- ・ノンステップバスの構造における車内外の安全確認の方法の徹底
- ・運行中の一声指示の徹底

適性診断の結果等を活用した運転者の管理

- ・性格等の判断の資料としての活用

車両の構造に係る改善

- ・転倒防止の握り棒の増設
- ・確認範囲の広い室内鏡の採用